

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010370

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	2 交通安全対策の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	道路区画線塗装事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課 #N/A	
事業指標	区画線延長	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
事業目標	75,000m	関係例規・法令名		
住民参加	無	関係個別計画名		
住民協働				

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	○町道の舗装道路で、見えにくくなった中心線や外側線を塗装する。 ・塗装総延長 L=75,000m (住民活動費との予算合算発注事業)	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m	
	事業費(千円)	3,560	600	680	720	760	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,560	600	680	720	760		
一般財源	3,560	600	680	720	760		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,832	520	593	537	753	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,832	520	593	537	753		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 塗装総延長 L=14,963m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 塗装総延長 L=13,861 m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 塗装総延長 L=12,172 m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 塗装総延長 L=13,489 m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 塗装総延長 L=14,355m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	14,963m	13,861m	12,172m	13,489m	15,000m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	87%	87%	75%	99%	54%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	15%	31%	46%	68%	80%
	備考欄						

事業名	道路区画線塗装事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者	作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	区画線延長	
【抱える課題やニーズは】	舗装道路の安全な通行が確保できない	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	道路利用者が視認しやすい区画線の確保	① 区画線塗装/区画線塗装	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路利用者の通行の安全の確保		目標値	14,355 m
			実績値	14,355 m
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間委託により実施	住民生活課予算(住民活動費)と合算し、入札により委託発注し実施した。(H29委託料:1,566千円)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	舗装道路の薄くなった区画線を塗装することは、道路利用者の通行の安全を図る上で、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、薄くなった区画線を視認性を確保し、交通の安全が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	舗装道路の薄くなった区画線を調査し、必要路線における適切な塗装ができたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	舗装道路の薄くなった区画線を塗装することで、道路利用者の通行の安全が図れたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
区画線塗装は、舗装道路の交通安全確保上、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
舗装道路の区画線がはっきり視認できることは、交通の安全確保のため必要不可欠であり、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止